

## 盛久神社と絡みあうアコウの木

地元の伝説によると、12世紀に平家が敗れたとき、この神社にその名がつけられた武将平盛久は、鎌倉で打ち首になるところでしたが、慈悲の菩薩である観音菩薩に対する日頃の深い信仰のおかげで命が救われました。盛久の法華経を唱える声と救いを求める祈りとが聞き入れられ、一筋の神々しい光が首切り人の刀を2つに折ったのです。盛久はその後、1202年に屋久島に向かう船上で命を落とし、その御霊がここに祀られました。

この聖なる土地で絵になるのは、樹齢100年以上と言われる、絡み合うアコウの木（夫婦アコウ）です。柱状の宿主は中が空洞になっています——向こう側が見える場所を見つけてみましょう。

春牧集落のツアー予約は、[yakushima.jp](http://yakushima.jp) のサイトにアクセスしてください。また、屋久島環境文化村センターに直接お越しいただいても承ります。

〒891-4205 鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦 823 番地 1